
1. 学歴

- 2013年 3月 東京大学経済学部卒業
2015年 3月 東京大学大学院経済学研究科修士課程修了
2021年 11月 London School of Economics and Political Science 修了
2021年 11月 Ph.D. in Economics (London School of Economics and Political Science)

2. 職歴・研究歴

- 2021年 8月 一橋大学大学院経済学研究科専任講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

基礎ゼミナール A, 開発経済学 A, 国際経済学 II

(b) 大学院

国際経済政策論 I

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部講義では国際経済学・開発経済学の標準的トピック・先端的トピックを段階的に扱うことによって、それぞれの分野に足を踏み入れる能力の習得を目的とします。大学院講義では最新の論文を扱うことで実証的な側面に焦点を当てながら研究のフロンティアに触れることを目指しています。

4. 主な研究テーマ

- (a) 貿易における商標が与える輸出促進効果に関する実証研究
- (b) 企業間のスイッチングコストが与える貿易の再配分効果に関する実証研究
- (c) 災害が人々の選好に与える実証研究

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

*"Motivations behind prosocial behavior: Evidence from the Philippines," (joint with Yasuyuki Sawada), *JOURNAL OF ASIAN ECONOMICS*, Vol.64, 2019.10.

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," Hitotsubashi Conference on International Trade and FDI 2021, 2021年12月11日。

"On the Stability of Preferences: Experimental Evidence from Two Disasters," HIAS ランチセミナー, 2021年12月22日。

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," OSIPP-Economics Lunchtime Seminar, 2022年1月19日。

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," WINPEC Research Seminar, 2022年1月20日。

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," GRIPS Graduate Seminar, 2022年1月26日。

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," Keio International Economics Workshop, 2022年10月20日。

"The Value of Trademarks: Micro Evidence from Chinese Exports to Africa," 東北大学現代経済学研究会, 2023年1月19日。

(b) 国内研究プロジェクト

科学研究費補助金若手研究「企業間のスイッチングコストが与える貿易の再配分効果への影響に関する実証・政策研究」(No. 22K13379), 2022 - 2024年度(研究代表者)。

科学研究費補助金基盤研究(A)「開発途上国におけるグローバルサプライチェーン参加要因とその影響の研究」(No. 22H00060), 2022 - 2025年度(研究分担者)。

7. 学外活動

(b) 所属学会および学術活動

American Economic Association